



国際サッカー評議会（I F A B）の130年に及ぶ歴史上最も広範囲な競技規則の改定が5月に出されました。全国的にこの改定を適用するのがこの7月ですが、北海道ではその改正の徹底が、4級審判員にまで行うには9月頃までかかってしまう。9月はリーグ戦は終盤、地区予選もほぼ終わるという中途半端な時期である、また、現在J F AがI F A Bに確認中という条文もあり、今後適用が変わる可能性もあるという理由から、競技規則の改定の適用開始時期を次年度（次のシーズン始め）よりとしました。皆さんもいろいろなところで競技規則の改定について耳にしているところもあるかと思いますが、今後は更新講習会をその説明に当てながら進めて参りますので、ご理解下さい。また、目にしたり、耳にしたりすることで、疑問などがありましたら、お近くの審判長、あるいはHK F A審判委員会にお問い合わせ下さい。J F Aの方でも質問と回答など、丁寧な解説もありますので、J F A H P をご参照下さい。

7月に入り大会や研修会も、地区レベルから北海道レベルへと移行してきている部分もあるかと思えます。そこで、最近感じていることを雑感として述べさせていただきます。

<審判員>

*HK F A = 北海道サッカー協会

・選手のプレーの結果として判定しているのですが、その判定が選手の感覚と合っていないこともあります。すなわち、「自分の判定に従え」的などころです。受け入れられるよう基準をばらつかせさせない。アピールがあるものに笛を吹きなさいといっているではありません。コンタクトがあってもノーマルフットボールコンタクトでありノーファウル。また、コンタクトがあり確かにファウルだけど、笛で止めるのではなくADVを適用できたでしょ。というところ。審判員の級の違いの大きな所はこのあたりと思えますので、試合の流れを大切にしながら、一貫した的確な判定基準によるゲームコントロールをお願いします。

・フィールド内のことだけではなく、ベンチの様子、第4の審判員の動き、交代の有無、アップの競技者の様子、得点板やタイマーの状態把握、ボールボーイの動き等々にも気づきを持てるようにしましょう。また、フィールド内では、ファウルの種類、ファウルをする競技者、ファウルを受ける競技者、ゴールキーパーの行動、ADVを適用したときの番号の確認と、その後の注意の有無など、記憶しておくこと、気づいておくこと、次に起こったときに起こすことなどの準備をしておくこと。

・プレイヤーズファースト。審判員としての心得でもありますが、いつも心にとめておいてほしいと思います。選手やコーチなどのチームは、またそこを応援している方々は、試合に向けて一生懸命に練習をして準備をして試合に臨んでいます。あなたが担当する試合には、みんなの重みがあり、その試合には意味があるということを受け止め、それに応えられるご自分の準備をして下さい。そして、サッカーの魅力を最大限に引き出すよう、試合環境を整備し、円滑な運営に努めてください。

・審判活動ではケガを起こさないよう、良い準備をお願いします。飲水タイムがあればしっかりと水分補給もしてください。これから夏場になっていきますが、体調管理に気をつけて良いパフォーマンスを発揮してください。



日頃よりたいへんお世話になっております。札幌地区に所属している板矢智志です。私は現在、北海道地域審判トレセン、強化指定審判員として活動させていただいております。2016年度U-20、22審判員夏期研修会が7月23日～7月25日にJ-GREEN堺で開催され、参加させていただきました。その報告をさせていただきます。

○研修会テーマ

- ・現在の自分の審判員としてのプロフィールの作成
- ・動きとポジショニング



〈プロフィールの作成について〉

プロファイリングについては、審判員を3つのグループに分け、トップレフェリーに必要なものをディスカッションし、模造紙に審判員像を書いて全体共有しました。翌日は、それを基として、今の自分のプロファイリングを1人一枚模造紙にまとめ、全体の場で発表しました。実際に字にすることで、足りないもの、トップレフェリーになるために何が必要なのかなどが明確になりました。他の審判員やインストラクターからの指摘も受け、自分では気付けない自分のプロファイリングも行えました。プロファイリングは成長すれば変わるものであり、成長するためにはP（計画）D（実行）C（評価）A（改善）サイクルを繰り返すことが大切であることを学びました。

〈動きとポジショニングについて〉

正しい判定をするためにはポジショニングの意識化が大切になると学びました。的確にかつスピーディにあらゆるもの（ゴール、ボールホルダー、味方、相手、スペース等）を観て予測し、事象が起こる前のプロセスが重要になります。観るタイミングはいつなのか、何を観るべきなのか、観る距離はどれくらいがよいのかなど、「観る質」を高めることが今の自分には必要なことだと気づきました。何を観たくて周りの状況を観るのかを明確にしていきたいと思います。

○感想

今回の研修会は2016/2017年競技規則で行われ、自分自身にとって初めての試合となりました。「決定的な得点の機会の阻止」、「オフサイド」の改正部分の事象が起き、大きな経験となりました。競技規則の理解を深めなければならないと実感しました。トップレフェリーと自分のプロファイリングを行ったため、今自分は何をすべきなのかということがわかりました。今研修会に参加させていただく機会をいただいた皆様に感謝し、高い向上心を持って今後もレフェリー活動を続けていきたいと思います。